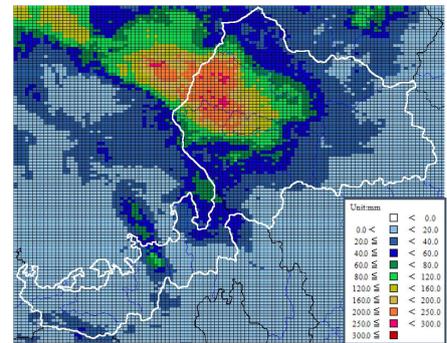




# 頻発する自然災害への備え ～BCP（業務継続計画）の作成について～

今年も各地で大雨や地震などによる自然災害が頻発しており、当事務所管内においても、7月29日には福井市を中心としたエリアで記録的短時間大雨情報が4回立て続けに発表されたり、8月12日から大雨では氷見市で72時間降水量が300ミリを超えるなど記録的な大雨が観測されています。また、9月16日には能登地方で最大震度5弱を観測する地震が発生するなど、いつどこで大規模な自然災害が発生してもおかしくありません。



7月28日1時～29日16時までの積算降水量  
出典：福井地方気象台ホームページ

## 1 BCP（業務継続計画）とは

このような中、土地改良施設が被災して機能を果たせなくなった場合には、営農に支障を与えるだけでなく、地域社会全体にかかわる重大な事態を生じさせるおそれがあります。

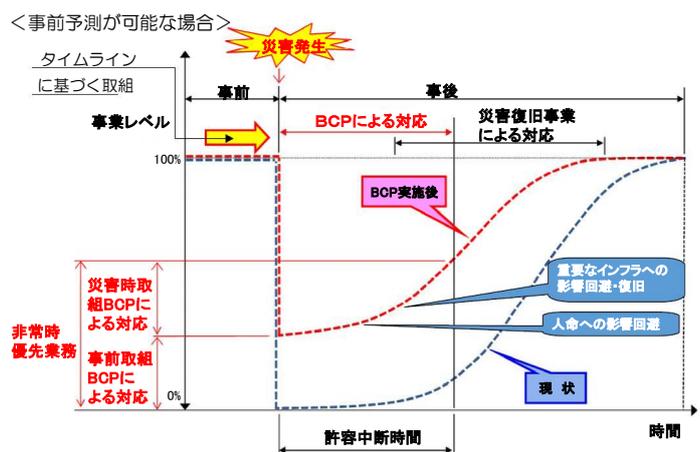
自然災害に備えるためには、施設を構造面から補強する「ハード対策」を計画的に実施していく必要がありますが、多くの費用と時間を要するため「ソフト対策」についても検討していく必要があります、そのひとつにBCPがあります。

BCPとは、業務継続計画（Business Continuity Plan）の頭文字を取った言葉で、自然災害やテロ、システム障害といった危機的状況下に置かれた場合でも、重要な業務が継続できるように計画・対策を立てることをいいます。

## 2 土地改良施設管理者のためのBCPについて

BCPは、土地改良施設が被災した後、可能な限り短い時間で機能を回復させるため、業務の遂行に必要なリソース（ヒト、モノ、カネ、情報など）に制約があることを前提に必要な措置を検討するものであり、従来よりも速やかに土地改良施設が果たすべき機能を回復させることを目的として作成する計画です。

農林水産省では、豪雨や地震を対象に、土地改良施設の管理者が自らBCPを作成できるように「マニュアル」を作成し、ホームページに掲載しています。土地改良施設を管理されるなかで、BCPを未作成の場合には、ぜひこの機会に整備をお願いしたいと思います。



土地改良施設管理者のためのBCPの概念図

土地改良施設管理者のための業務継続計画（BCP）策定マニュアル

[http://www.maff.go.jp/j/nousin/bousai/bousai\\_saigai/b\\_hukkyuu/index.html](http://www.maff.go.jp/j/nousin/bousai/bousai_saigai/b_hukkyuu/index.html)